



進路だより

保護者のみなさん、生徒のみなさん、共にお読みください

札幌市立宮の森中学校

令和7（2025）年度

第38号

1月23日（金）

進路係発行

公立高校願書一括受付

報道等で見た人もいるかと思いますが、1月20日に公立高校の願書の一括受付が行われました。皆さんの願書も数々の校内点検を経て、この一括受付で正式に高校の先生に受け取っていただくことができました。

今後、自己推薦受検の人たちには1月28日まで、一般受検の人たちには2月下旬に「受検票」が担任の先生から渡され、それを持っていよいよ受検に臨む、ということになります。

私立高校についても、同じように2月5日に一括受付があります。そこに皆さんの私立高校の願書を持って行きます。皆さんが中学校に提出した私立高校の願書は、一括受付に向けて先生方で点検をしているところです。不備や訂正がなければいいですね。

公立高校出願状況発表

願書の受付が終わると、高校側では出願者の人数が把握できます。それを受け、26日（月）の午前10時に公立高校の出願状況が発表されます。これは、いわゆる「倍率」と呼ばれるものです。

$$(\text{倍率}) = (\text{出願者}) \div (\text{募集定員})$$

で算出されます。例えば、募集定員が320人で、出願者が320人であれば、倍率は $320 \div 320 = 1.0$ 倍になります。出願者が2倍の640人であれば、倍率は $640 \div 320 = 2.0$ 倍になります。ただし、小数第2位で四捨五入されますので、上記の例で出願者が335人であっても、倍率は $335 \div 320 = 1.046 \approx 1.0$ 倍になります。人数上15人は不合格になるということです。1.0倍でも全員合格するというわけではありませんので、具体的な人数にも注意してください。

この出願状況発表を受けて、「出願変更」の受付が始まります。校内の出願変更申請の受付は27日（火）から30日（金）の朝までとなっています（極力29日（木）の16：40までに申し出てください）。もしも出願変更を考えている場合は、期日に絶対に遅れないようにしてください。書類の準備もありますので、できるだけ早く中学校に申し出るようにお願いします。なお、手続きは保護者の方に中学校に来校していただくことになります。

出願変更、する？しない？

倍率という具体的な数字を見ると、どうしても不安になってしまう人が多いかと思います。「〇〇人も落ちる！やばい！自分は絶対この中に入っちゃう！！」なんて思う人もいれば、逆に倍率が低くて安心して「やった～。もう勉強しなくても全員受かる！」なんて思う人もいるかもしれません。（ちなみに定員を割っていても落ちることはあります。また、合格できたとしても勉強していないと進級できなくなるかもしれません。決して油断しないように）

倍率が高くなると、確かに不合格になる人数は増えるのですが、でもちょっと考えてみてください。札幌市内の中学校では、皆さんと同じような形で進路指導が行われています。予想合格ラインに大きな違いはありません。倍率が高い高校は、いわゆるボーダー圏に出願者が固まっている状態です。倍率が高いからといって、極端に合格ラインが上がるということはありません。そのボーダー圏から抜け出すことができれば、合格の可能性が高くなることに変わりはないのです。

まだ、公立高校入試までは1ヶ月以上あります。その間にさんはまだまだ力をつけることが可能です。もし、より点数が低くても合格の可能性が高いと予想される高校に出願変更したとして、結局当日点が当初の出願高校にも十分合格できる点数をとれたとしたら、後悔はしませんか？出願変更して、ちょっと安心してしまって、今後の勉強に対する意欲が下がることはありませんか？「本当に自分が行きたい高校」から出願変更して、結果合格したとしても、高校生活の中で後悔することは本当にありませんか？

「出願変更」は、皆さんに認められている権利ですから、「してはいけない」というものではありません。けれども、自分の将来に大きく関わる内容ですから、よく考える必要があります。出願変更期間は本当に短いので、じっくり考える余裕がないかもしれません。でも、一時の不安な気持ちから変更してしまって、後で「やっぱり変えない方が良かったかな」なんて思わないように、本當によく考えて決めてほしいと思います。